

宣言
要書

一際声の如く理内を定、通リ昨九日午後
一時五分刻紙宣言書ヲ以テ発表ス
右及申(週)報候也

宣言文

宣言

吾人は茲に四院工団令部の就業を宣言す

先般罷工團解部控弊等の後、吾人は東京及大阪方面より
右場を得、再び此陣容を整へ、結社の連続を激し
したるか、一面に於て、会社との誠意ある協定を切望し、
て、第三者調停を親迎し、飽く迄の争議の糸解けに努
し来れり。然るに会社当局者の態度は、依然として不遜を改
むるなく、罷工團と一言に一旦諒解の連続を得ざるに至らざる。吾等
此の如きは其の最嚴解部が、其氏の調停事業に一時致しく同意を
表せしむるも、一旦此方針に於て其の情思の隔りや、会社側は
其の強硬ありとの作初諒解に因り、其結果を破棄するも、
畢竟に出して、吾人が陰忍自ら主を以て持し来れる互譲の
を謀りし途に交渉の途に出づるの已むを得ざるに及れり。
折井、此は先きに議工の彼等も、勸告し、次いで調停に三
前記某氏の協定事業を基礎とする吾人の控案の中、
んとする然るに、出てたり、又有未定事、
を諒す、
傍を以てし、
援を以てす、
其の経緯にして、
其の経緯にして、
其の経緯にして、